

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立第一小学校

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成28年4月19日（火）

3. 調査の対象

泉佐野市立第一小学校第6学年、全児童
実施児童数（60人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語・算数。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層が少なく中位層、下位層が多い。

平均正答率（本校 64.2／泉佐野市 69.5／大阪府 71.3／全国 72.9）

「B区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層がやや少なく中位層、下位層がやや多い。

平均正答率（本校 52.0／泉佐野市 52.4／大阪府 55.4／全国 57.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問
<p>【書くこと】 ○書き手の表現の仕方をよりよくするために助言することに課題がある。</p> <p>3 学年集会のお知らせの下書きで、ルール説明の表現について助言した内容として適切なものを選択する。 (55.0/67.4)</p> <p>【読むこと】 ○登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉えることに課題がある。</p> <p>6 『おばあさんの飛行機』を読んで、登場人物の人物像を説明するために、根拠となる表現として適切なものを選択する。 (43.3/63.9)</p>	<p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読み書きすることが概ねできている。</p> <p>1-1 今日は全国的に<u>快晴</u>だ (83.3/79.3) 1-2 お年玉を<u>貯金</u>する (100.0/98.5) 1-3 先生に<u>そうだん</u>する (66.7/64.2)</p> <p>○ローマ字を書くこと、読むことに課題がある。</p> <p>8__1 ローマ字を書く（りんご） (26.7/53.2) 8__2 ローマ字を書く（あさって） (21.7/41.8) 8__3 ローマ字を読む（h y a k u） (26.7/50.7)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】【書くこと】 ○目的に応じて、質問したいことを整理することや話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問することに課題がある。</p> <p>1-1 スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを作成した際の工夫した点として当てはまらないものを選択する割り付けとして適切なものを選択する。 (41.7/51.8)</p> <p>1-3 スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く。 (30.0/50.4)</p>	<p>【書くこと】 ○目的や意図に応じて、表を基に、自分の考えを書くことに課題がある。</p> <p>2-2（2）「早ね早起き」活動の課題に対する解決方法について、〈表2〉の結果を基に書く。 (55.0/64.2)</p> <p>【読むこと】 ○目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことに課題がある。</p> <p>3-1 「パン職人」に関する本を選んだ目的の説明として適切なものを選択する。 (68.3/77.2)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校 (H28)	全国 (H28))	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	52.3	58.3	◇	6.0
国語の勉強は大切だと思いますか	92.3	91.3		1.0
国語の授業の内容はよく分かりますか	76.9	80.7		3.8
読書は好きですか	60.0	74.6	○	14.6
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	84.6	89.2		4.6
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	50.8	67.0	○	16.2
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	58.4	62.3		3.9
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	64.7	74.0	◇	9.3
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	73.8	78.1		4.3
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか (「最後まで解答を書こうと努力した」の割合)	64.6	75.1	○	10.5

- 「国語の勉強は好き」の児童の割合が全国と比べて低いが、昨年度より差が縮まった。(H27 : 47.3)
- 「国語の勉強は大切だ」の児童の割合が全国とほぼ同じ状況となった。(H27 : 87.8)
- 「読書は好き」と感じている児童の割合が全国と比べて低く、昨年度と比べても低下している。(H27 : 73.0)
- 国語の授業で、自分の考えを話したり書いたり、話の組み立てを工夫したりするといった言語活動に対する項目の回答の割合がいずれも低いが、昨年度より全国との差が縮まった。
- 「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか。」の設問に「最後まで解答を書こうと努力した」と答えた児童の割合が全国と比べて低く、記述式の問題でも無答率が高かった。(H27 : 68.9)

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じである。
平均正答率（本校 77.2／泉佐野市 75.0／大阪府 76.9／全国 77.6）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べて上位層がやや少なく中位層、下位層がやや多い。
平均正答率（本校 43.8／泉佐野市 44.0／大阪府 45.8／全国 47.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】 ○小数の計算をはじめ数の計算については概ねできている。</p> <p>2（2）$4.65 + 0.3$を計算する。 (83.3/77.1) 2（3）$18 \div 0.9$を計算する。 (83.3/77.7)</p> <p>【量と測定】 ○単位量当たりの大きさの求め方に課題がある。</p> <p>4 8 m^2に14人座っているシートについて、1 m^2当たりの人数を求める式を書く。 (65.0/72.0)</p> <p>○三角形の底辺と高さの関係について理解できている。</p> <p>5 三角形の底辺に対応する高さを選ぶ。 (91.7/82.0)</p>	<p>【数量関係】 ○示された場面を適切に読み取り、全体の人数を求める式に表すことや1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解することに課題がある。</p> <p>9（1）前に10人、後ろに19人並んでいることを基に、列に並んでいる全体の人数を求める式と答えを書く。 (70.0/80.2)</p> <p>9（2）定員と乗っている人数の割合を、百分率を用いた図に表すとき、当てはまる数値の組み合わせを書く。 (45.0/50.9)</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】【量と測定】 ○示された式に数値を当てはめて、目標のタイムを求めることに課題がある。</p> <p>2（2）40mハードル走の目標のタイムを求める式に8.1と4を当てはめて、まなみさんの目標のタイムを求める式と答えを書く。 (43.3/50.5)</p> <p>【数と計算】 ○示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述することや乗法や除法の式の意味を解釈することに課題がある。</p>	<p>2（3）目標のタイムを求める式の中の0.4や0.3が表す意味を書く。 (5.0/15.6)</p> <p>3（1）三つの式について、それぞれの式が何を計算しているかの説明文を選ぶ。 (48.3/62.6)</p> <p>【数量関係】 ○示された事柄について、二つの表を基に読み取ることができない事柄を特定することに課題がある。</p> <p>4（2）示された二つの表だけでは判断できないものを選ぶ。 (65.0/70.7)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校 (H28)	全国 (H28)	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	72.3	66.0	◇	6.3
算数の勉強は大切だと思いますか	93.8	91.9		1.9
算数の授業の内容はよく分かりますか	86.1	80.2	◇	5.9
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	76.9	75.8		1.1
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	83.0	81.0		2.0
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	64.6	67.4		2.8
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.7	89.9		0.8
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	81.5	80.5		1.0
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	80.0 77.0	80.8 80.6		0.8 3.6
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	72.3	84.8	○	12.5
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか (「最後まで解答を書こうと努力した」の割合)	52.3	72.0	○	19.7

○算数の勉強は「好き」「大切だ」の児童の割合が全国を上回った。

(H27 : 56.8) (H27 : 87.8)

○算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用や社会に出たときに役に立つと思うことについて、回答の割合が全国とほぼ同じ状況となった。

○「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」の児童の割合が全国と比べて低く、授業改善の取組みを推進していくことが大切である。

(H27 : 78.3)

○「今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。」の設問に「最後まで解答を書こうと努力した」と答えた児童の割合が全国と比べて低く、記述式の問題でも無答率が高かった。

(H27 : 68.9)

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	○朝食摂取率が低い。	○朝食を毎日食べていますか <87.7/95.5>
	○ゲームやメールの時間が長い。	○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか <u>1時間以上の割合</u> <66.1/55.0>
	○読書の時間が短い。	○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く） <u>1時間以上の割合</u> <35.3/18.5>
	○地域の行事への参加率が低い。	○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く） <u>30分以上の割合</u> <20.0/36.5>
		○今住んでいる地域の行事に参加していますか <56.9/67.9>
【家庭学習の様子】	○家庭での学習の時間が短い。	○学校の授業の予習をする <30.8/43.3>
		○学校の授業の復習をする <33.9/55.2>

<p>【学校での 学習の様子】</p>	<p>○発表する機会はあるが、相手の話を聞いて自分の考えを述べることが弱い。</p> <p>○授業の振り返りが少ない。</p> <p>○書くことの指導が弱い。</p> <p>○話し合い活動が弱い。</p>	<p>○授業では、自分の考えを発表する機会が与えられている <89.2/85.1></p> <p>○学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていた <69.2/77.1></p> <p>○授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行った <60.0/76.1></p> <p>○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思う <75.4/60.4></p> <p>○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている <58.5/68.3></p>
-------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

本校の取組み

◎これまでの取組み

これまでの全国学力・学習状況調査の結果から見えてきた本校児童の学力実態を踏まえ、「心豊かな子どもの育成をはかり、確かな学力向上に努める」を教育目標として、研究授業の実施を含めた校内研修会を計画的に行い、授業改善の取組みをすすめている。

国語においては、朝の読書や読み聞かせを行い、読む力を高めるとともに、聞く力を高める取組みを実施している。

算数においては、朝学習や昼学習で、算数の基礎的な計算を中心に学習し、学期ごとに計算大会を開催し、全校表彰をすることで達成感が持てるよう努めている。また、3年生から6年生において、少人数習熟度別指導を行い、一人ひとりの習熟度に応じたきめ細かな指導で、基礎・基本の定着を図るとともに、活用力を高める授業を行っている。

本校児童の課題として、「自分にはよいところがある。」と回答した児童が66.2%（全国76.3%）、「人の役に立つ人間になりたいと思う。」と回答した児童が81.5%（全国93.8%）と低く、児童一人ひとりの自尊感情を高め、自信を持たせ、自ら考え行動することのできる力の育成を図るため、一小校区福祉委員会や地域の方のご協力をいただき、田植え・稲刈り体験、芋苗植え・芋掘り体験や昔遊び体験等のさまざまな体験活動に取り組んでいる。

◎これからの取組み

今回の全国学力・学習状況調査の結果を分析して、これまでの本校の課題を改善するためには、以下ことに取り組んでいく。

1. 指導方法の工夫改善

- 各クラスの学習状況を共有し、授業におけるスタンダードを決め、統一した「授業規律」「教室環境」等を決め、授業づくりに取り組む。
- チャイムによる行動、チャイム着席の徹底を図り、集中して授業に取り組む姿勢をつくる。
- 国語における書く力を高めるため、ノートのまとめ方や自分の考えを書くことや作文指導等を取り入れた指導を行っていく。
- 朝の外国語活動を行うことや、授業における話し合い活動を取り入れた展開をし、言語活動の充実を図り、コミュニケーション能力を高める。
- 授業の最後に振り返りの時間を必ず入れるよう徹底し、学習内容の定着を図る。
- 教員の指導力向上を図るため、積極的に研究授業、公開授業を行うとともに、自主研修を実施し、研究教科以外の教科研究にも取り組む。
- 授業参観を年間4回といつでも参観できるフリー参観日を2日設定し、保護者・地域に授業を公開するとともに、アンケート等を参考に改善を図る。

2. 知識・技能の習得

- 算数における校内計算力テストを4月と2月に継続的に実施し、児童の学力について、分析していく。
- まなびんぐサポート事業を活用し、2年生の希望者を対象に算数の補充授業を継続して行う。
- 中・高学年による夏休みの学習会を毎年行う。
- 読む力を高めるため、図書室の活用を積極的に推進する。